



## 目次 -Contents-

1	会長・各支部長より新年のごあいさつ .....	2
2	講習会・講演会情報 .....	6
3	第10回 常任理事会議のご報告 .....	7
4	福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告 概要 .....	9
	課題 .....	10
	審査講評 .....	13
	受賞作品紹介 .....	14
5	各支部よりお知らせ .....	16
6	会 員 動 静 .....	20
7	会長の街あるき食べあるき .....	21
8	事務局よりお知らせ .....	22

## 1

## 会長・各支部長より新年のごあいさつ

会長 八島 英孝



明けましておめでとうございます。

第二次安倍内閣の発足からちょうど一年、『アベノミクス』政策によって経済の沈滞ムードが一掃され、東日本の震災復興事業や東京オリンピックへ向けての整備事業が後押しするなか、建築業界はこの数年間の深刻な不景気から打って変わり、急激な発注の増加によって人材不足・モノ不足という別の意味で好ましくない状況に見舞われています。職人不足はもとより、設計事務所でも建築士の不足が顕著になってきています。設計にせよ施工にせよ、建築という産業がこれほどまでに景気変動に左右され、生産調整の効かないビジネスであることを改めて認識させられた一年でありました。これからの歴史のなかで幾度となく繰り返されるであろう景気の浮沈に対するスムーズなレスポンスは、建築産業が今後も豊かであるための最大の課題ではないでしょうか。

さて、福岡県建築士事務所協会の昨年を振り返ってみますと、運営環境が急激に悪化した一年でした。これまで協会の運営を収入面で支えてきた「開設者講習」が平成20年で打ち切れ、これに代わって登場した「管理建築士の法定講習」も平成23年で既存の管理建築士の受講が終わると、昨年は講習会収入が激減する事態となりました。もう一つの運営の柱である会員数拡大についても、不況のさなかで入会者を超える退会者の数となり、財務悪化の大きな一因となりました。この状況を受け、執行部では、今年度当初より会長を委員長とする財務改善のための特別委員会を設置し、次年度からの運営安定化を目指して検討を重ねている最中です。

このような状況の中、協会会員や県内各支部の皆さまには活発な活動を展開していただき心より感謝申し上げます。開催が危ぶまれた建築士事務所キャンペーンは建築関連団体で構成する木造研究会のご協力で盛会裏に終わることが出来ました。県内高校生・専門学校生による設計コンペも多くの応募作品が寄せられ、デザインが競われました。昨年からの受賞者のプロフィールをホームページ上で会員の皆さまに紹介するサービスもスタートさせました。このサービスにはすでに数件のオファーが寄せられており、今後の展開が期待されています。手続きが遅れていた一般社団法人への移行は、昨年12月の審査会で無事に認可され、本年4月1日に法人登記を行うことで準備を進めています。また、昨年11月に施行された耐震促進法を受け、今月から本部事務局内に一般消費者を対象にした相談窓口を開設します。この窓口は、福岡県をはじめ、建築住宅センター、県内の特定行政庁、JSCAと連携し、安心して安全な建築をのぞむ全ての県民の皆さまに利用していただくものです。我々建築士事務所の設計監理報酬を担保する告示15号の周知も、毎年の広報活動によって、福岡県をはじめとする県内自治体にも浸透してきています。支部所属の賛助会の皆さまにも日頃より協会活動に多大なるご支援をいただいております。改めて御礼を申し上げます。

今年は、4月の消費税率アップを控えてはいるものの、建築産業はますます忙しい状況になってゆくと予測されます。福岡県建築士事務所協会も、この状況に対応できるサービスを会員の皆さまに提供できるよう、執行部一同ますます精進してゆく所存です。運営環境の健全化、協会活動・支部活動の支援、各種講演会・研修会の実施、地方自治体とのさまざまな交渉、設計監理業務環境の向上活動などなど、会員の皆さまのさらなるご理解とご支援をいただきたいと思います。また、お知り合いの建築士事務所でも未だ協会にご入会でないかたがございましたら、是非入会をお勧めいただきますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 北九州支部 支部長 林 カヅ子

新年明けましておめでとうございます。皆様には心新たに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は北九州市立小学校を対象とした第13回児童絵画展『ぼくのわたしの夢のすまい展』を盛会に行うことができました。表彰式の会場は子供たち、ご家族でいっぱいになりました。子供たちの緊張した表情を見ると愛おしく喜びに包まれます。私たちはこの絵画展がきっかけとなり建築に興味を持ってもらい未来の建築家が誕生することを願っています。

そのほか、北九州構造技術者協会と共催の勉強会や講習会を毎月行いましたが皆様のスキルアップにつながり建築設計業務の一助となったと確信しています。又支部例会・ボウリング大会、懇親会で会員、賛助会の交流を深めることができました。会員、賛助会員の皆様お忙しい中、支部事業へのご協力に心より感謝申し上げます。

景気の動向指数は上昇傾向にありますが、今年度は消費税増税もあり会員各自の事業への影響も懸念されます。又県本部の運営も非常に厳しい状況が続いています。不安な要因もありますが何とかこの難局を打開しようとしています。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

何より本年も会員の皆様が健康でご活躍されることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



## 筑豊支部 支部長 大野 正三

明けましておめでとうございます。

アベノミクスの効果(?)からか、平成25年後半より俄かにデフレからインフレに向かっている様に見えます。反面、建築業界においては資材・人材等全てにおいて不足気味なのも現実です。オリンピックの日本誘致の成功も手伝い、九州における資材・人材の不足 それに伴う単価の高騰は、大袈裟に言えば危機的状況に陥るかもしれません。

長年デフレに慣らされている我々からみれば、入札での不落など考えた事ありませんでしたが、予算に合わない設計、又、着工しても工期延長を余儀なくされる等、今までにない悩みが発生し、へたをすれば資金がショートしてしまう恐れもあるという新たな問題に直面しています。

姉齒事件後やっと落ち着き平常になったというのに...と溜め息をついても仕方がないので何とか解決し乗り切って行かねばなりません。

今年の目標は、当事務所にとってメモリアルな建物になる物件を特別な気持ちで取り組む事です。32年前に手掛けた建物の移転新築で、土地探しから開発工事も含むものです。以前の建物はRC造平家建てで、50年以上は安心して使用出来るものと思っていましたが、時代の流れで耐震及びその他の不適格部分、又災害危険地域指定等色々な法整備により移転せざるを得ませんでした。

2度同じ建物の設計をすることは思ってもみませんでしたが、その内容は全く違うものになっています。しかしながら、あと30数年過ぎると人口減により新たな問題が発生し、また変化をしていく事になるのでしょう。

皆様と共に今年も頑張っていきますので、よろしくお願い致します。



## 福岡支部 支部長 岩本 茂美

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはお健やかな新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

私が福岡県建築士事務所協会福岡支部支部長の命を受け、2年が経とうとしています。当初は力不足ではないかと心配しておりましたが、何とか今日まで務めることができましたのは皆様のおかげとありがたく感謝しております。

さて、昨年、福岡地区で活動を行う建築4団体で立ち上げました「木造研究委員会」の活動が活発化してまいりました。木造建築物の耐震診断や耐震改修の講習はよく行われていますが、図面の仕様書や木材の流通経路等整備されておらず、また、木造建築に精通した若い建築士が少ないと感じておりましたので、本研究会で得た知識を会員の皆様に還元したいと考えたことが始まりでした。本年度の事務所協会キャンペーンでは日本建築家協会九州支部福岡会の松山将勝様をナビゲーターとしての中間報告が行われ、活発な質疑が出ましたことに、本研究会の果たす役割の大きさを感じました。本研究会の最終的な成果が出るまではもう少し時間がかかりますが、これを機に、木造建築への知識を深めた会員が増えることを願ってやみません。

また、本年1月6日より当協会では、昨年11月に改正施行されました「建築物の耐震改修の促進に関する法律」による建築主等からの耐震診断・耐震改修に関する相談窓口を一般財団法人日本建築防災協会の要請で立ち上げました。

この法改正では、全ての建築物については耐震診断及び必要により耐震改修の努力義務が課され、一定の建築物については耐震診断が義務化されるとともに耐震診断の結果の公表も行われるようになります。今年は耐震に関する相談が増加することが予想されますが、その後の耐震や設備の改修も含め、福岡支部でも県本部に協力して、行政、他団体と協調し、耐震業務の円滑な実施、推進に取り組んでいきたいと思っております。

福岡支部では、今後も福岡の設計業界が発展するための活動を行いますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、新年の御挨拶とさせていただきます。



## 県南支部 支部長 中野 寛

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には心新たな気持ちで平成26年の新春を迎えられたことと思います。

昨年からアベノミクスの影響なのか、4月からの消費税の値上げの影響なのか建設関連業界も目の廻るような忙しさに日々追われているとお聞きしております。

半面、人手が足りず特に職人さん不足で工事也大変遅れているとも聞いております。聞けば、今までの不況の影響で職種変えとか、廃業されたりしていて、建設関連の人手が足りないとの事です。

私共、県南支部の会員数も年々減少しており、同様に廃業がらみの退会者が増加しております。

是非ともこの景況が駆け込み需要ではなく、本当の景気回復であってほしいと期待するところです。今年も会員増強、拡大の目標を掲げております。特に昨年から会長のお働きにより、会員としてのメリットを提供出来るようになってきました。

今年、さらに会員への情報提供、サービスを含めた「魅力ある支部づくり」を心がけていかなければならないと決意を新たにしているところです。

県本部、県南支部も組織、活動内容は従前と変わりませんが、期待はずれと言われぬよう役員の皆様と共に努力してまいりますので、さらなる会員の皆様、賛助会員の皆様の御協力、御支援をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、本年も皆様に最良の年になりますようお祈り申し上げます。



## 大牟田支部 支部長 高巢 光男

新年明けましてお目出とう御座います。

昨年は沢山のニュースで話題豊富な一年でした。取り分け、構造計算書の偽装以前から行われていた「食材偽装」には何故か「衣・食・住」の二つもあつたのかと一寸古い語彙を思い出しました。

しかし反面、東京五輪開催決定や「富士山」の世界遺産登録等の明るいニュースもあつた一年でした。

さて支部長の任期も残す所あと五月の支部総会迄と成りました。

会員増強や支部活動が思う様に計れなかつた一年間でしたが、未加入の数事務所へ入会パンフレットを配布しましたので今年是一寸幾らかの成果が出るのかも？

又行政機関と一体になって「実務者の為の工事監理ガイドライン運用解説」の講習会を加入・未加入会員事務所共々実施したいと考えて居ります。

昨年末の西京極陸上競技場では福岡県代表の大牟田高校が一秒差で準優勝に輝きました。十五年ぶりの快挙です。少子高齢化の進む大牟田市では久し振りの明るい話題で賑わいました。三池港近くで建設されていた「帝京大学」も今春開校されます。

我々支部会員が大牟田市の為にも何か貢献すれば共に発展して行くものだと思つて居ります。

今年も会員の皆様方の御健勝を祈念致しまして新年の御挨拶と致します。

## 建築士定期講習・管理建築士講習のご案内

## 一級・二級・木造建築士定期講習

●平成26年2月19日(水) 受付 平成25年11月18日(月)～平成26年2月7日(金)

会場 福岡建設会館7F 【定員200名】

※[建築士会](http://www.f-aa.jp/)(TEL:092-441-1867)にて受付いたします。  
お問い合わせ等は建築士会までお願いいたします。

## 管理建築士講習

●平成26年3月 5日(水) 受付 平成25年11月25日(月)～平成26年2月7日(金)

会場 福岡建設会館7F 【定員28名】

## 《お申込書の配布方法》

- 1. (公財)建築技術教育普及センターのホームページよりダウンロードが可能です。

ホームページ:<http://www.jaeic.or.jp/> (左記URLをクリック)

- 2. (社)福岡県建築士事務所協会 窓口にて配布いたします。

※申込者が定員に達し次第、期間内であっても受付を終了いたします。

# 3

## 第10回 常任理事会議のご報告

日時 平成25年 12月 11日(水) 13:30～ 15:30

会場 (社)福岡県建築士事務所協会 事務局

出席者 会長、副会長、常任理事、事務長9名参加

### 1. 協議事項

#### 1. (社)福岡県建築士事務所協会関係

- 1. 第4回理事会の進行、説明担当者、議題の確認について  
理事会資料に基づき、本日開催の第4回理事会議題についての説明担当者並びに議題の確認がなされた。議長は副会長持ち回りにより今回は高巢副会長を選出。議事録署名人は林理事(北九州支部)、二田理事(福岡支部)を選任。
- 2. 財務検討特別委員会検討結果取組み状況について  
理事会資料に基づき八島会長より、現在の財務検討特別委員会での検討結果及び取組み状況の報告が次の通りなされた。
  - 県本部賛助会員の増強について  
現在勧誘する企業をリストアップ中であり今年度中に依頼し、来年度始めまでには目標が達成出来るように努める。
  - 会費値上げについて
  - 登録料の変更
  - 講習会収入の向上  
開設者・管理研修は来年1月に福岡県建築士事務所指導要綱が整備され、知事指定になる予定であるが、事務所登録時の受講の要件化は難しいとの回答が福岡県よりあった旨報告がなされた。  
その他の研修会も日事連を通じて法改正やトラブル予防等色々予定されており、1,000,000円程度の収益を見込んでいる旨説明がなされた。
  - 耐震診断・耐震改修相談窓口の設置について  
耐震改修の促進に関する法律の改正施行により、建防協より日事連を通じて各单位会に2014年1月からの相談窓口の設置の依頼がきている旨説明がなされた。
- 3. 平成26・27年度役員候補者の推薦手順等選任方法について  
現行の施行細則で選出すると定款変更案の理事候補者数の上限の20名以内に達しないため、効率的、合理的な運営を図るため、会長推薦枠で人数が調整できるように本日の理事会で施行細則第32条3項の会長選任枠を3名から5名に変更するように提案し協議のうえ承認いただくこととする。
- 4. 平成26年度通常総会日程及び会場について  
平成26年度通常総会について、平成26年5月23日(金)に福岡ガーデンパレスにおいて実施することが決定した。
- 5. 政経研究会設立について  
法人移行に合わせて来年度より政治団体を設立する旨の意見が出された。本日の理事会で概要を説明のうえ各支部に持ち帰って意見を纏めていただき、3月開催の理事会で具体的な内容を盛り込んだ議案を提出し協議のうえ、次年度総会で承認を得ることとする。
- 6. 日事政研「建築士事務所政経フォーラム」会費納入について
- 7. 会員が建築設計・工事監理等を行った住宅の新築及び購入を行った方への住宅ローン金利引下げ協定について  
当協会の主要取引銀行である西日本シティ銀行との間で、会員が建築設計・工事監理等を行った住宅の新築及び購入を行った方への住宅ローン金利を0.1%引下げる協定を結ぶことが説明され承認された。来年1月1日開始を予定しており、申込者が申込に必要な確認通知書、契約書等の確認書類について西日本シティ銀行と打合せを行い確認する。
- 8. 講座割引支援に関する提携についての覚書更新について(総合資格学院)  
賛助会員の総合資格学院より、総合資格学院の対象講座を会員が受講した場合1～2万円割引する覚書の継続についての依頼が届いている旨説明がなされ、協議の結果継続が承認された。
- 9. 「JAAF-MST2013」講習会の実施について
- 10. 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技入選者への就職支援について
- 11. 福岡建設会館管理会社及び清掃業者の変更について
- 12. 退会届け保留会員への対応について

● 13. 建築設計3団体意見交換会参加者について

当協会の担当により12月26日(木)12時より福岡建設会館7階会議室において、建築設計3団体意見交換会を実施する旨説明がなされた。

● 14. 関係団体新年賀詞交換会出席について

● 15. 平成25年度森林林業技術センター試験研究成果発表会の参加について

● 16. スギフォーラム2014in福岡の参加について

● 17. APS工法に対する説明会実施のお願いについて(株大林組)

● 18. 事務局冬季休暇について

就業規則通り年末年始の12月28日から1月5日の間事務局を休業することが報告された。

## 2. 報告事項

### 1. (社)福岡県建築士事務所協会関係

■ 1:一般社団法人への移行状況について

■ 2:建築士事務所キャンペーン実施報告

### 2. 日事連関連及び九州・沖縄ブロック協議会関係報告

■ 1:単位会への耐震診断・耐震改修相談窓口の設置について

- 耐震改修の促進に関する法律の改正施行により、建防協より日事連を通じて各単位会に2014年1月から耐震診断・耐震改修の実施に伴う相談窓口の設置の依頼がきており、同様の依頼がJSCAや福岡県建築住宅センターにも届いており、今後福岡県に相談のうえ福岡県内の相談体制のルールづくり、役割分担を協議していく事が説明された。

■ 2:平成25年度九州・沖縄ブロック協議会臨時会長会議の開催について

- 12月25日に平成26・27年度(日事連)役員候補者推薦の件等で、臨時会長会議が福岡建設会館で開催される旨報告がなされた。

■ 3:第120回全国会長会議、11月通常理事会、常任理事会、総務・財務委員会

■ 4:(仮称)建築士事務所法の取組状況について

### 3. その他

■ 1:新年挨拶廻り、財務検討特別委員会、常任理事会日程について

- 新年挨拶廻り 日時 平成26年1月8日(水)10時30分 県庁集合
- ・財務検討特別委員会 日時 平成26年1月8日(水)13時30分~/場所 事務局
- ・1月常任理事会 日時 平成26年1月8日(水)15時00分~/場所 事務局

# 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

平成25年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。

今年は高等学校の部4校より計56点、専門学校の部(高専1校を含む)5校より計78点のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が11月26日にキャナルシティ博多ビジネスセンタービルにて行われました。また11月25日～29日の期間、福岡市役所1階市民ロビー多目的ホールにおいて作品の展示会が開催されました。



## 経 過

- 平成25年 5月10日 関係校へ課題を通知、応募期限を9月20日とする  
 9月20日 提出校、高等学校の部4校、専門学校の部5校(高専1校含む)  
 10月7日 福岡建設会館において、13時30分より審査会を行い各賞決定  
 11月26日 キャナルシティ博多ビジネスセンタービルにおいて表彰式開催  
 11月25日～11月29日 福岡市役所1階市民ロビー多目的ホールにおいて作品展示会開催

## 審査委員名

- 河野泰治(社)福岡県建築士事務所協会顧問
- 福岡県建築都市部長
- 福岡県教育長
- 北九州市建築都市局長
- 福岡市住宅都市局長
- (一財)福岡県建築住宅センター理事長
- (公社)福岡県建築士会長
- (公社)日本建築家協会九州支部長
- (社)福岡県建築士事務所協会

## 協 賛

- (一財)福岡県建築住宅センター

## 後 援

- 福岡県
- 福岡県教育委員会
- 北九州市
- 福岡市
- (公社)福岡県建築士会
- (公社)日本建築家協会九州支部

## 参加者の皆さまへの御礼

本年度の課題は、昨年度に引き続き高等学校の部が住宅、専門学校の部が地域施設をテーマとし、現在我が国で進んでいる高齢化社会に対応した高齢者を意識した住宅及び少子高齢化社会に対応した世代間を越えて様々な世代が集い、活動し、お互いを理解していく地域交流施設を提案していただく計画趣旨でした。

今回の設計競技ではご担当いただいた先生方の熱意あるご指導、ご尽力のもと昨年度を上回る応募をいただきましたことを深く感謝いたします。

応募作品は参加者の個性が随所に表れた力作が多く、審査も難航いたしました。審査員の皆様の厳正かつ公正な審査のうえ優秀作品を選定いたしました。

今後も皆様方のご意見を参考により当設計競技のレベルアップを図り、参加校及び応募数の増加に繋げていき、建築設計に関する技能の向上、学習意欲の高揚に努めてまいります。

最後にご参加いただいた生徒、学生の皆様に御礼申し上げますとともに、公私ともご多忙のなか審査戴きました、河野審査委員長はじめ、福岡県、福岡市、北九州市、各団体のご協力に心より御礼申し上げます。

(社)福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会  
委員長 岩本 茂美

平成25年度 課題

高齢者のための住宅

計画趣旨

人生80年時代といわれています。高齢者の住まいも多様性が求められています。老夫婦だけの住まい、単身高齢者の住まい、個々の独立性を持った小集団の住まい、2世代、3世代の住まい、体が不自由になった場合を想定した住まい、都会に住むか、自然に囲まれたところに住むか等々。高齢者の日常生活の希望をかなえられるような、空間や環境づくりを計画してください。

いづれにしてもこれからの高齢者の住まいづくりは、**使いやすさ、美しさ、わかりやすさ、安全性、省エネルギー**などが問われるでしょう。

諸君のまわりの身近な人が、現在はもちろん、将来においても楽しく、ゆとりある生活ができるような住宅、夢のある理想の住宅を提案してください。

計画条件

- 1) 敷地
  - 面積……………360㎡ (20m×18m 添付図あり)
  - 用途地域……………第一種住居地域 (容積率200%以下、建ぺい率60%以下)
  - 前面道路……………車道幅員6m、歩道2m
  - その他……………電気、上下水道、ガス等の附帯設備は完備されている。
- 2) 建物
  - 用途……………専用住宅
  - 構造……………木造2階建て以下とする。
  - 注意事項……………コンセプトは明確にすること。
  - 延床面積……………160㎡ (±10%)
  - 所要室……………自由
- 3) 提出図面
  - 用紙……………当協会配布のケント紙 (B2サイズ) 1枚を使用し、横書きとする。
  - 提出内容……………設計コンセプト : 『高齢者のための住宅』にふさわしい名称をつける。
    - ・ 配置図 (1/300) : 駐車場 (2台)、庭の計画も含む (植樹、菜園等)
    - ・ 平面図 (1/100) : 1階平面図は配置図兼用可
    - ・ 立面図 (1/100) : 2面
    - ・ 断面図 (1/100)
    - ・ 外観パース : まちなみ及び敷地内の計画をすべて含む
  - 条件……………必ず手書きとする。CGは不可、模型写真の添付は自由、着色は自由。図面には必ず面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と  
応募数

有明工業高等専門学校 (1年~3年)	作品数	41点
浮羽工業高等学校	"	7点
戸畑工業高等学校	"	1点
福岡工業高等学校	"	7点
計 4校		56点

個人賞

● 知事賞	福岡工業高等学校	3年	徳永 陽司
● 福岡県教育委員会賞	福岡工業高等学校	3年	牧 龍汰
● (一財) 福岡県建築住宅センター理事長賞	福岡工業高等学校	2年	吉田 朝陽
● 会長賞	有明工業高等専門学校	3年	椎原 奈央
● (公社) 福岡県建築士会会長賞	福岡工業高等学校	2年	吹上 加奈
● (公社) 日本建築家協会九州支部支部長賞	有明工業高等専門学校	3年	青田 興明
● 金賞	福岡工業高等学校	3年	富永 恭平
● 銀賞	有明工業高等専門学校	3年	坂井 謙一
● 銅賞	有明工業高等専門学校	3年	牛島 美夏
● "	有明工業高等専門学校	3年	舎川 誠太
● 佳作	戸畑工業高等学校	3年	齋藤 伸彬
● "	浮羽工業高等学校	3年	坂本 健
● "	有明工業高等専門学校	3年	村上 和也

(敬称略/順不同)

平成25年度 課題 地域住民の憩いの場となる交流施設

計画趣旨

核家族や少子高齢化社会と言われて久しい日本では、地域高齢者の増加や子育て支援の不足、孤立や防災犯罪等が問題視されている。

その様な環境において、児童から高齢者迄の地域住民が気軽に集まり、お互いが交流する事によって地域の支えや連帯感が生まれて『地域力の向上』につながるのではないだろうか。

計画にあたっては、地域住民が自由に利用出来、開放された施設で、健康・福祉についての相談や文化・芸術・スポーツ・講演・サークル活動等に於いて環境問題や地域交流が学べる施設を提案して欲しい。

敷地

- 1) 敷地面積 1,500㎡
- 2) 用途地域 第一種住居地域（容積率200%、建ぺい率60%）
- 3) 前面道路 車道8.0m・6.0m・歩道2.0m
- 4) その他 ライフライン完備。平坦公園地の一角

建物

- 1) 用途 交流施設
- 2) 延床面積 1500㎡（±10%）
- 3) 構造 鉄骨造又は鉄筋コンクリート造2階建
- 4) 所要室
 

1階	玄関ホール	150㎡	（雑談、PCコーナー、展示スペース、WC等）
	事務室	50㎡	
	相談室	90㎡	（3室：多機能、育児室、保健室等）
	面談室	30㎡	（2室）
	多機能ホール	300㎡	（機械室、倉庫、更衣室、控室等）
2階	ホール	自由	（階段、WC、雑談コーナー、倉庫等）
	中小研修室	150㎡	（可能間仕切）
	学習室	90㎡	（3室）
	調理室	60㎡	（食材庫等）
	和室	60㎡	

※ 尚所要室、面積は適宜とする。
- 5) 屋外計画 自由

提出図面

- 1) 用紙 当協会配布のケント紙（B2サイズ）1枚を使用し、横書きとする。（※ 貼付はしないこと。）
- 2) 提出内容
  - 設計コンセプト 「**地域住民の憩いの場となる交流施設**」 にふさわしい名称をつける。
  - 配置図（自由）：駐車場、適宜計画
  - 平面図（1/200）：1階平面図は配置図兼用可
  - 立面図（1/200）：2面
  - 断面図（1/200）
  - 外観パース：敷地内の計画及び公園広場の樹木等の全て含む
- 3) 条件 CG可、模型写真の添付は自由。着色は自由。  
図面には必ず面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と  
応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	22点
有明工業高等専門学校(4年~5年)	"	4点
九州職業能力開発大学校	"	5点
福岡建設専門学校	"	38点
福岡デザイン専門学校	"	9点
計 5校		78点

個人賞

●知事賞	福岡デザイン専門学校	2年	石濱 泉
●福岡県教育委員会賞	福岡デザイン専門学校	2年	古謝 拓也
●(一財)福岡県建築住宅センター理事長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	原田 あゆみ
●会長賞	麻生建築&デザイン専門学校	1年	梁瀬 直樹
●(公社)福岡県建築士会会長賞	福岡建設専門学校	2年	佐伯 育子
●(公社)日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡建設専門学校	2年	久保 直人
●金賞	福岡デザイン専門学校	2年	石戸谷光洋
●銀賞	福岡建設専門学校	2年	山崎 佑樹
●銅賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	伊波 美樹
"	福岡デザイン専門学校	2年	百崎 善博
●佳作	有明工業高等専門学校	5年	トゥイナマシコジョナサン
"	九州職業能力開発大学校	2年	野邊 周吾
"	福岡デザイン専門学校	2年	福田 悠加

(敬称略/順不同)

高等学校の部 課題

高齢者のための住宅

専門学校の部 課題

地域住民の憩いの場となる交流施設

今年度の課題は、高等学校の部では住宅、専門学校の部では地域施設とした。

高等学校の部では、建築計画の基本に立ち帰って「使いやすさ、美しさ、わかりやすさ、安全性、省エネルギー」などを重視した。そのため制約条件を外したごくシンプルな自由度の高い課題としている。一見取り組みやすいと思われがちだが、少し突き詰めてみると「高齢者」と住まいとをどのように捉え、提案するのか意外と簡単ではないが、単身、夫婦、小集団、2世代、3世代あるいは都市か郊外居住かなどのヒントが課題の趣旨に示されている。応募作品は、これらのヒントに即して提案されている。

敷地面積がややゆったりしていることから、3世代にしなければ平屋案に落ち着く。2階建て案では、昇降にスロープ案もあったが、工夫した階段の提案が多かった。ホームエレベーターの設置には抵抗があるように見受けられる。総じて「元気な高齢者」を思い描いた案となっている。ごく一部の作品で、面白い提案ながら、延べ面積や駐車台数などの計画条件に違反した作品も一部見られた。注意しよう。

専門学校の部の課題は、「地域住民の交流の場」が、「地域の力」と互いに刺激し合うことによって、その価値・意味を高め合うことになる。ということが、作品の舞台・敷地の選定で、想い出を超えた「思い入れの場」を選定するきっかけになっているとみられる提案が多く目に付いた。応募者の地域・まちづくりへのこだわり、関わりリアリティがあり、かつ力強く図面全体に表現されている好作品が少なくない。対象とする地域をどのように読み取るかが一つのおおきなポイントになるからである。そして共感を生む構想力、訴える力、造形力が問われ、入賞につながる。

応募は高校56(昨年48)作品、専門学校78(65)作品。審査は福岡県建築士事務所協会の審査委員6名による一次審査で設計・製図の基本と応募要件をチェックし、各20作品、30作品を二次審査対象として選出した。二次審査は、福岡県や北九州市・福岡市などを含む県内の建築団体の役員9名の特別審査委員を加えた17名によって、審査委員の推薦数の多い上位作品を対象に協議によって受賞作品を決定した。

高等学校の部 総評

入賞作品は、しっかりスタディして、構想力、計画力に余裕を持たせ、しかも基本に忠実でまとも良く丁寧に仕上げられ、好感が持てる。タイトルはいずれも設計の趣旨がうまく表現されていて、一見して、設計者の狙いや思いを読み取ることができた。とりわけ、上位入賞作品は、素直な表現、美しくバランスの良い仕上がりで、課題の趣旨を充分受け止めた作品群と言える。

専門学校の部 総評

課題に対する強い思い入れを発想の原点にして、素直に提案に結び付けた作品が目についた。上位入賞作は、対象とする敷地、地域とその環境についての観察力、洞察力に秀でた提案と路地うらや緑・草花など地域空間を構成する上での特色ある要素をモチーフにした提案などいろいろな個性がしみでている。





## 北九州支部からのお知らせ

## 12月度 常任幹事会のご報告

日時	平成25年12月20日(金)17:00~19:00
場所	トークン設計
出席者	林支部長、高崎、久松、小野、佐々木、徳永、望月、藤本
議 事	

## ■ 報告事項

## 1:平成25年度第4回理事会の報告について

財務検討特別委員会報告がありました。要旨は前年度300万円の赤字、今年度500万円の赤字予定である。一般社団法人化に向けて県と打ち合わせを行っているが、赤字予算は組めない旨報告があった。減収の主な原因は、事業収入が他の民間団体の参入により激減したためである。今後の財務改善案として

- ・事務局の家賃の値下げ交渉
- ・県本部の賛助会員の充実
- ・登録料の値上げ
- ・会費の値上げ           を含め4案が紹介された。

今後の努力目標として

- ・会員増強 支部毎に目標を定めて取り組む
- ・講習会収入の向上を図る。開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会（2014年1月より指導要綱が整備され、知事指定の申請が可能になる予定である。）
- ・耐震改修促進関係、実務者の為の工事監理ガイドラインの手引きの解説講習会、告示15号の支援ツール、その他

## ■ 協議事項

## 2:前記報告事項について、次回理事会が3月11日開催予定なので、北九州支部の意見を聞いておきたい旨林支部長より説明された。

おもな意見としては

- ・会費値上げは止むえないとしても会員に納得して頂けることが必要であり、値上げをするとしたら妥当な金額はどれくらいか。
- ・値上げすると退会する会員が出るかもしれないが、最小限にとどめる方法を考えなければならない。
- ・賛助会員は支部の既賛助会員と別枠で募集してほしい。
- ・登録センターの手数料について、赤字決算で、県も値上げを認めないのであれば非会員と会員と金額を変えていただきたい。非会員に応分の負担をして頂く。
- ・会員であるメリットをつくる。住宅ローンの金利、申請機関の申請料の割引(北九州支部独自で交渉し、会員増強に役立てる。)
- ・最終的には、福岡会あつての事務所協会であるので、日事連への人頭分担金600万円に手をつける可能性も視野に入れる必要がある。その際日事連会員も選択できるように組織を変更することも必要がある。

### 3: 次期支部役員改選について

支部役員選任規定第3条により5名を選出する。選考委員の募集は平成26年1月8日に周知する。

- ・役員選考委員会 平成26年1月24日
- ・支部長候補推薦 平成26年1月24日
- ・次期役員候補推薦 平成26年2月28日
- ・支部長、役員決定 平成26年3月14日

### 4: 賀詞交歓会について

平成26年1月10日(金)賀詞交歓会の出席者名簿を当番幹事の建築士会より下書きをいただいた件で意見が出ましたので報告いたします。

- ・6団体が7団体になっている。建築士会、事務所協会の賛助会はそれぞれの団体に登録しているのに、何故建賛会のみ単独になっているのか。出席者名簿の作成の方法を工夫した方がよい。登録料を支払った団体のみ掲載されているが、他団体と重複している方もおられるので紛らわしい。

## 県南支部からのお知らせ

### 県南支部活動報告

下記のとおり、12月4日(水)役員会を開催しました。

#### 報告事項

- ①今村より理事会報告
- ②田原事業委員長より、11/9、10武雄・平戸方面へ研修旅行(16名参加)を行った事の報告
- ③今村より11/26事務所協会キャンペーン開催、県南支部より10名参加した事の報告
- ④今村より地方公共団体への共同要望運動の実施について、要望書及び名簿の配布をお願いした事の報告

#### 協議事項

- ①賛助会員との懇親会
  - ・日 時 平成26年1月17日(金) 午後5時00分～執行部会  
午後5時30分～役員会  
午後6時30分～商品説明会  
午後7時00分～賛助会員との懇親会
  - ・場 所 プリジストンクラブ
  - ・会 費 一人2,000円(二人目以上は、3,500円)
- ②中野支部長より会員増強について提案を行い、協議の結果 甘木地区の会員増強について検討を行う事となった。

#### 今後のスケジュール

- 1/17(金) 賛助会員との懇親会
- 2/ 4(火) 総務・財務委員会
- 4/ 1(火) 監査・執行部会
- 4/ 4(金) 役員会
- 5/ 9(金) 総会



## 福岡支部からのお知らせ

### 福岡支部 三役会及び役員会開催のご報告

下記のとおり、第7回三役会および第4回役員会を開催いたしました。

#### ◆日時・場所

平成25年12月9日(月)【三役会】15:00～ 建設会館5階事務局  
【役員会】16:15～ 建設会館702号会議室

#### ◆議題

- 入退会について
- 中間会計監査報告
- 建築士事務所キャンペーンの報告
- 福岡市発注の設計・監理案件についての協議及び建築指導部情報交換会の次回日程について
- 平成26年度建築倶楽部新年の集いについて



### 「福岡建築倶楽部新年の集い」のご案内

早いもので、7団体で共催する年頭恒例の合同新年会のご案内をする時期になりました。今年も建築倶楽部合同の新年の集いを下記のように計画しています。例年通り、堅いあいさつは少しにして和やかに、美味しい料理とお酒で新年会を盛り上げましょう。

みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひ多数のご参会の程を幹事一同お待ちしております。

- 日時：平成26年1月24日(金) 18時30分～
- 会場：タカクラホテル福岡  
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-7-21 TEL. 092-731-1661
- 会費：5千円／一人 当日ご納入下さい。
- 申込：FAXにて(社)福岡県建築士事務所協会福岡支部事務局までお申込み下さい。

※会場準備の都合上、事務局までお問合せの上お申度いただきますようお願い申し上げます。  
なお、当日欠席の場合は会費をご負担頂きます。

- 回答先 (社)福岡県建築士事務所協会福岡支部事務局  
FAX 092-473-7676 ※お申込書は次頁をご覧ください。



平成25年11月1日

会員・賛助会員 各位

(社)福岡県建築士事務所協会福岡支部

支部長 岩本 茂 美

- 福岡建築倶楽部 -

公益社団法人日本建築積算協会 九州支部 (幹事会)

一般社団法人日本設備設計事務所協会 福岡県支部

公益社団法人福岡県建築士会 福岡地域会

社団法人福岡県建築士事務所協会 福岡支部

一般社団法人日本建築構造技術者協会 九州支部

日本建築学会 九州支部 福岡支所

公益社団法人日本建築家協会 九州支部福岡地域会

以上 建築設計関連7団体 (福岡都市圏支部)

共同会名「福岡建築倶楽部」といいます。

「福岡建築倶楽部新年の集い」のご案内

早いもので、上記7団体で共催する年頭恒例の合同新年会のご案内をする時期になりました。来年も建築倶楽部合同の新年の集いを下記のように計画しています。例年通り、堅いあいさつは少しにして和やかに、美味しい料理とお酒で新年会を盛り上げましょう。

みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひ多数のご参会の程を幹事一同お待ちしております。

記

日 時 : 平成26年1月24日(金) 18時30分～

会 場 : タカクラホテル福岡

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-7-21 TEL. 092-731-1661

会 費 : 5千円/一人 当日ご納入下さい。

申 込 : FAXにて(社)福岡県建築士事務所協会福岡支部事務局までお申込み下さい。

※ 会場準備の都合上、本年12月18日(水)迄にお申込いただきますようお願い申し上げます。

なお、当日欠席の場合は会費をご負担頂きます。

申 込 書

福岡建築倶楽部「新年の集い」参加申込書

所属団体名 (社)福岡県建築士事務所協会福岡支部

会社名 TEL

ご出席者

ご出席者

■回答先 (社)福岡県建築士事務所協会福岡支部事務局 FAX 092-473-7676

## 大牟田支部からのお知らせ

### 平成25年度 第8回幹事会のご報告

日 時 平成25年12月24日(火) 18時30分より

出席者 支部長:高巢 副支部長:宗正 常任幹事:中野 幹事:永江 監事:水町

#### ■ 1. 報告事項

##### ● 12月11日(水)

- ・第10回常任理事会
- ・第4回理事会

##### ● その他

- ・法人移行認可について(12月審議会上程)
- ・(仮称)建築士事務所法の取組状況について
- ・住宅ローン金利引き下げ協定について
- ・福岡県指定構造計算適合性判定機関の選定結果について

#### ■ 2. 協議事項

##### ● 平成25年度新年会について(支部)

- ・場所の選定について(出席者の確認とスペース)
- ・式次第
- ・その他

##### ● 消防出初式の案内

- ・平成26年1月12日(日) AM9:00~ 市民会館
- ・出席者&費用について

##### ● 次年度会長候補者の推薦について

- ・平成26年2月5日(水)迄に推薦書提出

##### ● その他



次回幹事会:平成26年 1月 27日(月) 18:30~ 於:事務局

## 6

## 会員動静

### 会員情報変更

事務所名 株式会社 井口工務店

福岡支部

会務代表者 友田 政陳



吉田 良子

## その34 ～ 白金界隈編 ～

(会長:八島 英孝)

皆さま、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

私事ですが、昨年は神様と仏様にいつになくご縁があった一年でした。8月に事務所協会の全国大会で20年に一度の式年遷宮が行われた伊勢神宮の行事に参加し、完成したばかりの内宮に入れたのは一生の思い出になりました。10月には、もう一つのビッグイベントである出雲大社にお参りできました。こちらは60年に一度の『平成の大遷宮』です。次は確実に無いでしょうか、本当に貴重な体験でした。最後は11月に訪れたネパールです。首都カトマンズからお釈迦様の聖地であるルンビニーに入りお釈迦様のお墓を訪ねることができたのは、これまた忘れられない体験でした。しかも、お釈迦様の末裔である釈迦一族の方の案内で、普通は行けない場所を訪れたり、ヒマラヤ山脈を飛行機から眺めたり。こんな神々しい(仏々しい)一年はまたとないだろうと感謝感謝の年でした。



強烈なパワーを感じた伊勢神宮



全国から神様が結集する出雲大社



お釈迦様が産湯を使ったと謂われる池

今月は白金界隈を散策しましょう。この界隈は、知事公舎や老舗の料亭などがあり、昔からちょっと高級な一帯です。でも、最近はお洒落で隠れ家っぽいスポットが少しずつ増えていて、知る人ぞ知るスノッパなエリアになっています。最近で一番ホットなお店は、会員制のお寿司屋さん『**鮎麻生 平尾山荘**』(092-524-5777)と吹抜けの大空間でワインとお料理をいただく『**白金酒店**』(092-534-1200)ではないでしょうか。気軽に食べるならお好み焼きの『**巧房**』(092-523-7728)。広島風のお好み焼きの他、いろんな鉄板焼きが楽しめます。マニアックなお蕎麦が食べたい方は『**あ三五**』(092-526-4582)です。大将が非常にユニークですがお味は保証付きです。最後はスイーツで『**アセット**』(092-531-1130)。なかでもシュークリームがお薦めです。



会員さんの紹介がないと入れないけど予約で一杯の『鮎麻生 平尾山荘』。



『鮎麻生』は職人の手作業が見事な江戸前のお寿司です。



創作のお料理をカウンターで戴く『白金酒店』。背中にはワインが一面に。



ちょっとお洒落な空間でお好み焼きを戴ける鉄板焼きの『巧房』。



大将が話好きで気さくな『あ三五』のお蕎麦はかなり美味です。



『アセット』は小さなケーキ屋さんですが、魅力的なスイーツ満載。

※画像はすべてウェブサイトより転載しています。

## 「福岡市 確認申請の手引書」がお求めやすい価格になりました！

事務局にて「福岡市 確認申請の手引書」を販売しております。

280ページのボリュームで、さらに平成16年度版にはなかった「構造計算適合性判定における質疑の事例集」が付録として付いており、大変お得な内容になっております。

お求めやすい新価格になりました！是非、この機会にお求めください！

《販売価格》 1冊 ~~¥2,000~~  
**新価格** 会員¥ 500 !!  
 一般¥ 1,000 !!

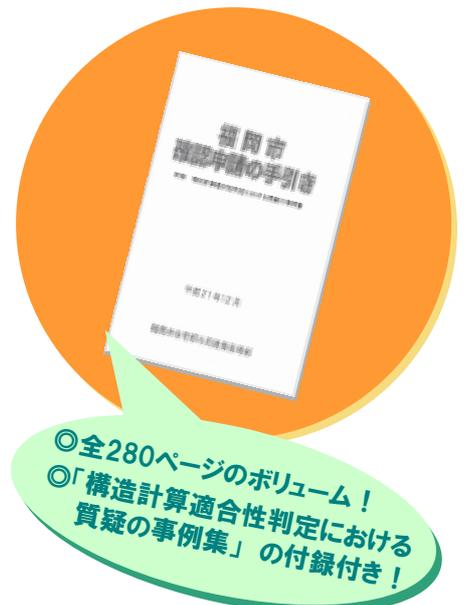
- 内 容：第1章 確認申請について
- 第2章 許認可手続き、各事務処理フロー
- 第3章 建築基準法取扱い
- 第4章 福岡市関係条例等
- 第5章 福岡市各種様式他

- 付 録：構造計算適合性判定における質疑の事例集

(平成21年12月改正版)

代金引換でのご発送も承ります。詳細はお問合わせください。

(社)福岡県建築士事務所協会 福岡支部 TEL:092-473-5506



最新の情報はホームページにてお知らせしています。  
 新着情報コーナーをご覧ください。

<http://www.f-aa.jp/>

—— 上記をクリック ——

### ■建築福岡Monthly 記事掲載等のお問い合わせについて

(社)福岡県建築士事務所協会 「建築福岡Monthly」編集担当までご連絡ください。

[ ■ TEL:092-473-7673 / FAX:092-473-7278 ■ E-mail: info@f-aa.jp ]